

平成20年度 事業評価書

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|------|-------|------|-------|
| 地名 | 徳島県上勝町 | 選定年度 | H16年度 | 事業規模 | 小規模事業 |
| まちづくり協議会名 | 上勝町エコバレー推進協議会 | | | | |
| モデル事業名 | 上勝町脱化石原料とゼロウェイストアカデミー事業 | | | | |

1. 事業の実施状況

| | | | |
|-------|-------|-------|--|
| 委託事業 | 事業期間 | H16年度 | 普及啓発事業として、ゼロ・ウェイストアイデアの募集や、ゼロ・ウェイストスクール及びバイオマスシンポジウム等を開催。また、間伐材の持ち込みに応じて発行するエコマネーの実証実験を実施。 |
| | | H17年度 | 普及啓発事業として、ゼロ・ウェイストスクールやセミナーを開催したほか、普及啓発用パンフレット等を作成。 |
| | | H18年度 | 普及啓発事業として、木質バイオマススクールやシンポジウムを開催したほか、普及啓発用パンフレット、地域環境資源マップを作成。 |
| | 事業完了後 | H19年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。 |
| | | H20年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。 |
| | 交付金事業 | 事業期間 | H16年度 |
| H17年度 | | | チップボイラー導入事業として、チップボイラーを導入。 チップ生産システム導入事業として、破砕機を導入。 |
| H18年度 | | | 薪ストーブ導入事業として、薪ストーブを導入。 |
| 事業完了後 | | H19年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。 |
| | | H20年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。 |

2. 評価・分析

| | | | |
|---------------------------|--|-------|---|
| ①事業の特色・モデル性 | <p>従来から取り組んでいるごみの削減に加え、資源の有効活用という観点から木質バイオマスの利活用に取り組んでいる。木質バイオマスについて、地域全体の取組となるよう、ハード整備に加え、ソフト事業との連携を強化していく必要がある。</p> <p>チップボイラーを町で率先導入するとともに、地域の未利用木質資源をチップ化する設備を併せて整備することで、木質バイオマスの地域内循環システムの構築を目指すものであり、今後の取組の進展に期待する。</p> <p>間伐材を市民が持ち込み、エコマネーを発行して地域活性化につなげるなど、継続する仕組み構築への努力を評価する。</p> <p>早くからごみ問題、環境問題に取り組んできた町らしい積極的な取組であり、チップボイラーの運用上の問題も研究しており、評価できる。</p> | | |
| ②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等) | 二酸化炭素排出削減効果 | 備 考 | |
| | 目標値 | 570.6 | H16年度、H17年度、H18年度事業分 |
| | 実績値 | 308.2 | H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH20年度稼働実績 <small>(目標値・実績値単位:t-CO2/年)</small> |
| ③経済活性化効果 | <p>・チップボイラー関連事業</p> <p>年間削減目標達成率は、昨年度より向上しているが、未だ目標値の半分程度である。原因としては、昨年度同様、保温に必要な稼働に重油を使用している点、温泉のエネルギー使用量が当初予測を下回っている点等がある。課題は残っているが、改善への努力に期待する。</p> | | |
| | <p>・チップボイラー関連事業</p> <p>チップボイラー導入事業について、設備導入に伴う重油代削減効果が得られている。また、本事業は地域の関心の高い課題である「間伐材の有効活用」による森林再生に直結する事業であるが、町内の林業関係者も燃料用木材の出荷等が増加するなど効果の発現が見られており、今後更に町産材の利用拡大に繋がることが期待される。また、林業活性化とソフト事業による住民のごみ減量意識啓発講座など、ハードとソフトの連携への発信力を評価する。</p> | | |
| ④その他 | 施設整備事業と普及啓発とエコマネーによる間伐促進システム構築等がうまく連携しており、バランス良く発展している点を評価したい。 | | |